

なくせ！原発 安心して住み続けられる福島を！

11・2ふくしま大集会実行委員会ニュース

第2号(2013.10.11) <発行>大集会実行委員会事務局(024-525-8563)

全国から期待と賛同のメッセージが次々寄せられています！

実行委員会では、全国の学者や文化人などのみなさんに、集会成功にむけた賛同のよびかけを郵送しました。このよびかけに対し、昨日までに40人をこえるみなさんから期待と賛同のメッセージが寄せられていますので、紹介させていただきます(次号以降でも随時紹介します)。

湯川れい子さん(音楽評論・作詞)

この小さな地震列島に、どう考えても原発は時限爆弾のようなもので、いつ巨大地震に合わせて爆発するか解りません。そうなったら、日本国民はもう住むところも、食べる物も無くなります。今、覚悟を決めて、原発を全廃にすること。岩波ブックレットから、自然エネルギー財団が出した『自然エネルギーQ&A』という本が500円出ています。大丈夫です。原発はやめられます。私たちが勉強して、周囲をレクチャーしていきましょう！

松野迅さん(ヴァイオリニスト)

被爆の連鎖をたちきりましょう！

山崎朋子さん(ノンフィクション作家)

子どもたちのために、私たちのために、原発ゼロ！！

「3つの要求はそのとおり」「どんどん発信すべき」 - 共感の 声広がっています！

実行委員会事務局では、広範なみなさんに参加いただけるよう案内活動をつよめています。本日も、福島県平和フォーラム、福島県教職員組合、自民党、民主党、共産党、社民党の各県組織などを訪問しました。「県民として3つの要求はそのとおりだ」と思う、「たいへん良いことだ」と思う。どんどん発信すべきだ」「がんばってください」など共感の声が寄せられました。実行委員会では、多くの団体に足を運び、要請を広げていきます。

<事務局より>今日で原発事故から2年7ヶ月。昨日、東京電力は「福島第一原発の港湾外の海水から放射性セシウムを検出した」と発表。「コントロール」されていないことは明らか。「国の責任で汚染水問題の解決を」の声を大きく広げましょう。

*連休中のお問い合わせは、野木事務局長へ(080-6004-0542)。